

1月の産地情報

輪菊	白菊	主な産地は愛知、静岡等。6日以降より入荷量が安定してくるが、全般的にはやや少な目の見込み。 神馬、誠の2品種が主力となり、外国はマレーシア産が安定的な入荷となる。
	黄・赤菊	静岡、沖縄、愛知産中心。沖縄産は作付け量が例年より減少、静岡産も同様に高齢化等で年々減少している。 入荷量は中旬まで少な目、以降例年並みの見込み。
小菊		沖縄中心。1月は全般的に少な目で、色バランスも日々偏りが見られる。
SP・ディスバッド		・SPマム:愛知、静岡、栃木、鹿児島、沖縄主体。上旬は少な目で、中旬以降は増加してくるが大きな増加は見込めない。 ・ディスバッド:愛知、静岡主体。作付けは昨年並みで大きな増減は無い。
バラ		栃木、静岡、愛知産中心。各産地とも大きなピークは無く横ばい。
カーネーション		千葉、静岡中心。初市では荷物がまとまるが、それ以降はやや少な目となる見込み。L-2Lクラスが主体となる。
ガーベラ		静岡中心。作付けは例年並みだが昨年より株の状態が良くない為、各産地やや少ない入荷量が続く。
かすみ草		各産地とも先月に前進気味で推移したが、温度環境が落ち着いてきた為安定した入荷が予想される。 引き続き上位等級は少な目の入荷となる。
リシアンサス		台湾、ベトナム産の入荷が増える。 国産は等級区々、沖縄産も後半には数量まとまってくる。
ユリ	オリエンタル	埼玉、高知、千葉中心。数量は例年並みでやや少な目となる。W:色は6:4で、カサブランカが少なく八重咲き品種が一定量入荷あり。
	スカシ・鉄砲	・鉄砲ユリ:埼玉、鹿児島中心。数量は例年並みでやや少な目となる。 ・スカシLAユリ:埼玉中心。数量は例年並みの見込み。
洋ラン類		・オンシジューム:冷え込みにより国産、輸入共に入荷少なめになる。・カトレア:数量は少ない見込み。 ・シンビジューム:遅れていた花芽が開花し数量が増える見込み。・ファレノ:台湾、中国産中心で入荷は潤沢。 ・モカラ、バンダ:入荷量は潤沢の見込み。
季節もの		・チューリップ:新潟、富山中心で年内遅れた分の一部品種がずれ込み、全対象は例年よりもやや多めの入荷となる。 ・ストック:千葉産中心。スタートが遅れていた分、上旬から順調入荷。また山形産も年内終了は出来ず、年明けも入荷がある為全体的に潤沢な入荷量となる。・桜、雪柳:促成も順調になりそう。数量は多くはないが花付きは良い年。